

注意事項

防水性：

我们已经在控制器上采取了尽可能周全的防水措施。但我们无法保证在所有情况下都能达到100％的防水性能，因此您应避免在雨天或湿度达到70％以上等恶劣的天气或者环境中使用遥控器。

高温：

避免温度超过 +70°C。同时不可让控制器长时间受日光曝晒，例如停在日照位置的车内。

电气注意事项：

在电子系统中，电缆总是最容易破损的元件，特别是在面对机械磨损的情况下。因此，为了延长控制器的使用寿命并尽可能降低基本“维修”的成本，我们在控制器的设计中融入了方便更换电缆的特性。但是，您务必记住总是先将电缆插入控制器。以免导致相机连接意外短路。我们建议您只在绝对必要的情况下才从控制器上拔下电缆。

工作规格

工作温度范围：-10°C (14°F) 至+ 60°C (140°F)
 存储温度范围：-20°C (-4°F) 至+ 70°C (158°F)
 最高相对湿度（无冷凝）：70％

免责声明

本文档中的信息如有变更，恕不另行通知。
 对本文档所含信息的任何错误，曼富图不提供任何保证，概不负责。
 佳能商标为其所有者的财产。

合规性声明

欧洲合规性

CE符号标记表示该系统符合欧盟的相关议会指令。

FCC B类信息

该设备经测试证明符合 FCC 规章第15部分关于B类数字设备的限制要求。这些限制要求旨在针对居住环境中的有害干扰提供合理防护。本设备产生、使用并且可能辐射射频能量，如果不按照使用说明进行安装和使用，可能会对无线电通讯造成有害干扰。但是，不能保证在特定的安装条件下不产生干扰。如果本设备对无线电或者电视接收产生有害干扰（可通过开关设备来确定），建议用户采用以下某一项或多项措施来消除干扰：
 - 重新定向或者放置接收天线。
 - 增加设备与接收器之间的距离。
 - 设备插座与接收器件分别连接不同的电路。
 - 咨询经销商或者有经验的无线电/电视技术人员，以获得帮助。
 未经曼富图明确批准的任何改动都可能使用户失去操作本设备的权限。

ICES-003/NMB-003 声明

本设备符合加拿大 ICES-003 B类标准的要求。
 本设备符合加拿大 ICES-003 B类标准的要求。

パッケージの内容 ①

次の付属品が入っていることをご確認ください。

- 取扱説明書
- カメラ用リモコン、USBケーブル付
- ケーブルクランプ

リモコン概略図 ② & ③

このリモコンはキャンEOS DSLRのUSBポートに取り付けることができ、ビデオ録画時のフォーカス調整をするほか、カメラの「ビデオ」モードと「フォト」モードでのその他のさまざまな機能を操作することができるよう設計されています。カメラのHDMIポートには、「ライブビュー」機能を使用するときの外付モニタを接続することができます。

1. 入／切スイッチ
2. 「フォーカス」ノブ
3. 「フォーカス速度制限」ダイヤル
4. 「フォーカスモード」(可変または固定)スイッチ
5. 「REC／停止」または「シャッター」ボタン（1枚撮影、もしくは押しっぱなしで連続撮影）
6. 「デジタルズーム」と「フォーカスメモリ2」ボタン
7. 「オートフォーカス」ボタン
8. 「ライブビュー」と「フォーカスメモリ1」ボタン
9. 「LEDインジケータ」(リモコン接続、録画、フォーカス速度設定、リモコン充電)
10. 「フォト」LED
11. 「ビデオ」LED
12. 「メモリ1」LED
13. 「メモリ2」LED
14. USBケーブル 伸ばした長さ 50cm (19.6")
15. 電池ケース (単4形充電池ニッケル水素電池2個、または単4形アルカリ電池2個 一電池寿命最大10/12時間。付属品に電池は含まれていません。)
16. クランプ：直径12mm (0.47") ～23mm (0.90") の円形のチューブ／パイプ／バーに取付可能。

特長

- ・3段切換式超精密フォーカス速度
- ・固定または可変フォーカス調整モード
- ・カスタマイズできるフォーカス速度制限
- ・「フォーカスメモリ」設定
- ・「ライブビュー」操作
- ・「オートフォーカス」操作
- ・「ライブビュー／デジタルズーム」操作
- ・ビデオ録画開始／停止
- ・1枚撮影、もしくは複数枚撮影
- ・リモコンの電池状態
- ・カスタマイズできるフォーカス方向
- ・録画LED
- ・「ビデオ」および「フォト」LED
- ・多目的クランプ：直径12mm (0.47") ～23mm (0.90") の円形のチューブ／パイプ／バーに取付可能。

対応機種（キヤノン）

使用できるカメラについての最新の情報は、マンフロットのウェブサイトに掲載されている一覧表をご覧ください。

クイックスタート手順 ④ ⑤ & ⑥

リモコンをカメラの**パン棒**に取り付け

- カメラとリモコンの**スイッチ**を切る。
- **電池**を入れる。(図④)

- リモコンをカメラの**パン棒**に取り付け。

- a) クランプでSymplaシステムに固定する (MVA518W付属のアダプタに連結する)。(図⑤)
 - b) クランプで「ビデオ／フォト」雲台に固定する。(図⑥)
- **リモコンのUSBケーブルのプラグをカメラのUSB AV-OUTコネクタに差し込む。**
 - **USBコネクタがリモコンに適切に接続されていることを確認する。**
 - **カメラとリモコンのスイッチ**を入れる。

カメラのスイッチを入れると、まずコントロールがフォーカスノブをニュートラルに合わせます。この調整が行われている間、LEDランプが点灯します。ランプが点灯している間は、フォーカスノブを動かさないでください。この調整が終わり(およそ2秒かかります)、すべてのLEDランプが消えたら、コントロールの操作を開始できます。カメラとの通信ができなかった場合は、LEDインジケータ (9) が点滅します。その場合は、次の操作をしてください。

- ・ USBケーブルとカメラおよびコントロールとの接続をチェックする。
- ・ コントローラとカメラ両方のスイッチを切る。
- ・ コントローラとカメラ両方のスイッチを入れる。
- 「**ビデオ**」LEDランプ (11) と「**フォト**」LEDランプ (10) が同時に3回点滅する場合は、**コントロールの電池切れ**を意味します。**電池残量は残り20分程度です**ので、**電池を交換または充電してください。**
- **カメラのスイッチを切ったとき、USBケーブルを抜いたとき、リモコンから何もコマンドが送られないときは、その2分後にリモコンが待機モードになります。その場合は、キーパッドのどれかのボタンを押してください。そうすれば再びリモコンが使えるようになります。**

カメラにリモコンを接続する

注意！

- リモコンとカメラの電子回路にダメージを与えないように、USBケーブルのプラグを差し込んだり抜いたりするときは、必ずリモコンとカメラのスイッチを切ってください。
- キヤノンのEF USMレンズの使用をお勧めします。そのほうがレンズの精度と信頼性が高く、ビデオのフォーカス調整の動きが静かだからです。
- このリモコンを接続するのは、下記対応機種一覧中のDSLRカメラ、あるいはファームウェアをアップデートするためのパソコンだけにしてください。

操作

注意：このリモコンで操作可能な機能は、使用するカメラおよびレンズによって異なります。例えば、「ビデオ」モードのとき、EOS 7Dと500Dはリモコンで「ライブビュー」のスイッチを入れることはできません。但し、スイッチを切ることはできます。

フォーカスノブを使用する

フォーカスノブ (2) を右または左に回して、カメラのフォーカス調整ができます。ー「ライブビュー」のスイッチを入れます。注意 (EOS 7Dの場合のみ)：「ビデオ」モードでは、リモコンではなく、カメラ本体で「ライブビュー」機能を作動させる必要があります。

ー「フォーカスモード」(4) を設定します。
 ー「フォーカスモード」を「可変」(VAR) に設定すると、フォーカスノブを回す角度を大きくするほど、フォーカス速度が上がります。
 ー「フォーカスモード」を「固定」に設定すると、フォーカス速度が一定になります。フォーカス速度制限ダイヤルでフォーカス速度を設定します。

注意：「ライブビュー」機能が作動していないと、カメラはリモコンからのフォーカス命令を受け付けません。

フォーカス速度制限を選ぶ

「フォーカス速度制限」ダイヤルを右に回すと、最大フォーカス速度が上がリ、左に回すと、最大フォーカス速度が下がります。
 LEDインジケータ (9) が現在のフォーカス速度を示します。

点滅1回：速度1 (低)
 点滅2回：速度2 (中)
 点滅3回：速度3 (高)

フォーカス方向をカスタマイズする

フォーカス方向を変えるときは、次の手順で行ってください。
 ーリモコンのスイッチを切ります (カメラのスイッチは入っていても切っていてもかまいません)。

ー「オートフォーカス」ボタンを押して、押しつづけたまま
 ーリモコンのスイッチを入れます。
 ーM1とM2のLEDランプが点灯して消えるまで待ちます。
 ー「オートフォーカス」ボタンを放します。
 この操作にかかる時間はおよそ6秒です。

新たに設定したフォーカス方向が、コントロールに内蔵のフラッシュメモリに記憶されます。これは再度手動で変更するまでメモリに残るので、リモコンのスイッチを切って、再び入れたあとでも、この新たに設定したフォーカス方向のままです。

ライブビュー
 カメラの「ライブビュー」を作動させるには、ボタンを1回押します。停止するには、ボタンを再度押します。
注意：「ビデオ」モードのとき、EOS 7Dではリモコンで「ライブビュー」のスイッチを入れることはできません。但し、スイッチを切ることはできます。

オートフォーカス

カメラのオートフォーカス機能を作動させるには、ボタンを1回押します。
 注意：カメラのレンズがMF (マニュアルフォーカス) に設定されている場合、リモコンの「オートフォーカス」コマンドは動作しません。

デジタルズーム

「ライブビュー」が作動している場合、ボタンを1回押すと5倍ズーム、ボタンをもう1回押すと10倍ズームになり、3回押すと「ライブビュー」のデジタルズームのスイッチが切られます。

Rec／シャッター

- フォトモードとビデオモードを切り替えるには「REC/停止」ボタンをダブルクリックして下さい。(リモコンスイッチを入れた状態で)。ビデオまたは写真のLEDは、現在作動中のモードを示します。
- 「ビデオ」モードのとき、このボタンは録画開始／停止を制御します。REC / シャッターボタンを1回押すと、録画が開始され、再度押すと録画が停止されます。
 - カメラで録画中は、LED指示灯 が1秒間に1回点滅します。注意：この設定がある場合、カメラの「メイン」モードダイヤルで「ビデオ」モードをオンに設定します。(例 Canon 60D)
 - 「写真」モードのとき、このボタンはシャッターを制御します。写真を撮影するには、ボタンを1回押します。注意：シャッター機能の作動方法は、カメラレンズがオートフォーカスがマニュアルフォーカスかによっても異なります。
 - フォトモード動作中に「REC/停止」ボタンを2秒以上押し続けると連続撮影が行われます。

フォーカスメモリ

「フォーカスモード」を「固定」フォーカス速度FOC1F、FOC2F、FOC3Fのいずれかに設定します。
 ーフォーカス中に使用するフォーカス速度を選択します。
 ーメインフォーカスノブ②を回してフォーカスの位置を選択します。
 ーLVボタンを少なくとも2秒間押し続け、1つ目のフォーカス距離を設定します。システムではM1 (フォーカスメモリ1) として保存されます。M1 LEDが点灯し、M2 LEDが点滅を開始します。
 ーメインフォーカスノブを回して2つ目のフォーカスの位置を選択します。
 ーズーム＋ボタンを少なくとも2秒間押し続け、2つ目のフォーカス距離を設定します。システムではM2 (フォーカスメモリ2) として保存されます。M2 LEDの点滅が止まり、点灯します。
 M2から始めてフォーカスメモリポイントを設定することもできます。「LV」ボタンまたは「ズーム＋」ボタンのいずれかを少なくとも2秒間押し続けると、新しいフォーカスメモリポイントが自動的に保存され、古いメモリポイントがリモコンのメモリから削除されます。

M1とM2の両方のLEDが点灯していると、フォーカス距離が2つのメモリ設定に限定されます。最大フォーカス速度は、「フォーカス速度制限」ダイヤルで制限されます。フォーカス速度制限が変更される場合、AF機能が使用される場合、またはリモコンのスイッチが切られている場合、システムでは、M1とM2の設定が削除されます (さらにM1とM2のLEDが消灯します)。DSLRがオフか、「ライブビュー」が作動していない場合は、削除されません。

注意：現在のカメラ機能やレンズの品質により、また、フォーカスの移動時にレンズからの反応が得られない場合、フォーカスメモリ機能では、フォーカス中のいくつかの中間手順がときに省略される場合があります。同じ理由で、次の場合、リモートでは認識できません。
 ・ **フォーカスがフォーカスレンズの端の停止位置と重なっている場合。**
 ・ **レンズのフォーカスまたはズームをマニュアルで変更する場合 (レンズ自体を回して)**
 これらの場合、リモコンのメモリポイントの正確性が失われ、リセットや削除が必要になります。

リモコンユニットのファームウェアのアップデート

アップデートの告知や説明については、マンフロット社のWebサイトを確認してください。

トラブルシューティング

- リモコンとDSLRが接続されない場合、次の点を確認します。
- ・ リモコンユニットの**スイッチ**が入っているかどうか。
 - ・ **カメラとリモコンの両方の電池が充電されているかどうか。**
 - ・ **USBケーブルが、カメラとリモコンの両方に適切かつ固く接続されているかどうか。**
- 前述の点を確認しても**カメラとリモコンが接続されない場合、カメラとリモコンの両方のスイッチを切り、USBケーブルを取り外して接続し直し、カメラとリモコンの両方のスイッチを入れます。**
最後の手段としては、カメラとリモコンの両方のスイッチを切り、カメラの電池を取り外し、入れ直してから、再度スイッチを入れます。

最大スピードでフォーカスコントロールを行う際、指をノブから離すとレンズの余分な動きがあることがあります。その場合はフォーカスコントロールのスピードを落として下さい。

- フォーカススピードを最大にして下さい (FOC3)
- ライブビューボタン (図2内の8)とデジタルズームボタン (6)を同時に押して下さい。：LED (10-11) が点滅します。
- 遅くするにはライブビューボタン (図2内の8)を押します。
- 早くするにはデジタルズームボタン (6)を押します。7つの値があります。(7＝初期設定による最大値)
- 結果を確認するには、フォーカスノブ (図2内の2)を動かします。
- 新たな設定値を保存するにはライブビューボタンとズームボタンを同時に押して下さい

本リモコンがカメラとレンズに接続される度に新しい値が自動的に関連付けられます。

使用上の注意

耐水性能：

コントローラは、耐水性能を有するよう配慮されていますが、すべての環境で100％の耐水性を保証することはできません。雨や湿度70％以上のような荒天や環境条件でのコントロールの使用は、避ける必要があります。

高温環境：

70°Cを超える温度は避け、一定時間強い直射日光にさらされるような環境 (日の当たる場所に駐車中の車の中など) に、コントロールを放置しないでください。

電気的注意事項：

ケーブルは、特に機械的摩耗の影響を受けやすい場合などに、電子機器の中で最も壊れやすい部品の1つです。したがって、コントロールの寿命を延ばし、基本「修理」を可能な限り安価にするために、ケーブルを簡単に交換できるよう設計しました。ただし、カメラ接続時の偶発的なショートを避けるため、常に最初にケーブルをコントロールに差し込む必要があることを忘れないでください。絶対に必要な場合を除き、コントロールからケーブルを取り外さないことを推奨します。

動作仕様

動作温度範囲：-10°C (14°F) + 60°C (140°F)
 保管温度範囲：-20°C (-4°F) + 70°C (158°F)
 相対湿度 (結露がないこと) 最大 70％

免責事項

この説明書に含まれている情報は予告なく変更される場合があります。マンフロット社は、この説明書に含まれている情報の誤りについて、一切の保証を行わず、また、一切の責任を負わないものとします。キヤノンの商標は、その所有者の財産です。

適合宣言

欧州での適合性

CE記号の記載は、このシステムが、欧州連合の該当する委員会指令に適合していることを示します。

FCCクラスB情報

この機器は、FCC規則/パート15に従って試験済みで、クラスBデジタル機器の仕様に準拠しています。この仕様は、住宅への設置時に有害な干渉に対して妥当な保護が行われるよう設計されています。この機器は、説明に従って設置および使用が行われない場合、無線周波エネルギーが生成され、使用され、また、放出されることとなり、無線通信に有害な干渉の原因となる可能性があります。ただし、この干渉は、特定の設置条件下で発生しないという保証はありません。この機器が、ラジオまたはテレビの受信の有害な干渉の原因となるかどうかは、機器のオフとオンを切り替えることによって特定できますが、有害な干渉が発生する場合、次のいずれか、またはいくつかの方法で干渉の修正を試みることを推奨します。
 - 受信アンテナの方向の変更や回転。
 - 機器と受信機との間の距離を長くする。
 - 受信機が接続されているコンセントの回路とは異なる回路にあるコンセントに機器を接続する。
 - 販売代理店または経験のある無線やラジオの技術者に助けを依頼する。
 マンフロット社が明示的に許可していないいかなる変更や修正も、この機器を操作するユーザーの権限を無効にします。

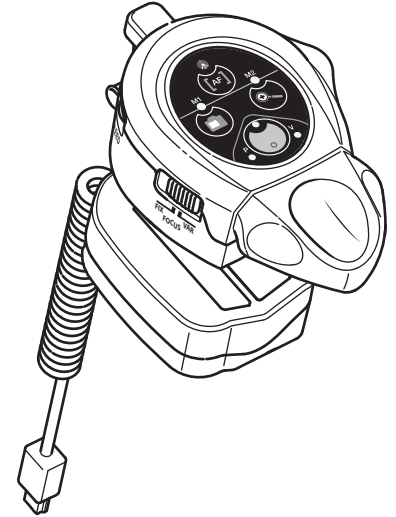
ICES-003/NMB-003ステートメント

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme ICES-003 du Canada. この機器は、カナダのICES-003クラスBに準拠しています。



Manfrotto

Imagine More



INSTRUCTIONS

MVR911ECCN

